

昨年子どもたちは、コロナ禍の中で過ごすことを余儀なくされ、自分自身のこと親や友だちとのことなど、いろいろな変化があった一年でした。年次報告書では「背景としてのコロナ」「自死」「不登校」「マルチトリートメント」「精神疾患」という柱を立ててまとめました。

子どもたちは、「チャイルドライン」や「こどもほっとダイヤル」にかけることで、気持ちを聞いてもらって少し楽になったりします。「こどもほっとダイヤル」は相談内容によっては、子どもの意思により特定することができ、関係機関と連携し、その気持ちに添った解決に向けて一緒に考えます。近年子どもたちの身近なコミュニケーションのツールになっているSNS。子どもたちにとって多様なツールが必要と考えて、「子ども専用メール」「MIEちゃんに聞いてみよう」「オンライン相談」の3種類の相談窓口をつくっています。子どもたちが誰かとつながりたい、気持ちをぶつきたいと思った時、いつでも思いを受け止められるチャイルドラインをめざしています。

きいてほしいな

チャイルドライン MIE

0120-99-7777

月～土曜日の午後4時～午後9時まで
(12月29日～1月3日はお休み)

指示しない、指導しない、傾聴する、かけてくる子どもの主体を大切に、子どもの心を受け止める18歳までの子ども専用電話です。2020年度は、三重県の子どもの電話を6,175件受けました。

主催：認定NPO法人チャイルドヘルプライン MIE ネットワーク

オンライン相談 (チャット)

<http://www.childhelplineie.net/onrain-soudan/>
毎週土曜日 午後4時～午後9時まで
(12月29日～1月3日はお休み)

「文字でつながる／気持ちを伝える
／思いを受け止める」
2020年度は18件の相談がありました。

主催：認定NPO法人チャイルドヘルプライン MIE ネットワーク

たすけて！もいえる チャイルドヘルプライン

こどもほっとダイヤル

0800-200-2555

毎日午後1時～午後9時まで
(12月29日～1月3日はお休み)

チャイルドラインと同様、かけてくる子どもを解決の権利主体として捉え、子どもの気持ちに寄り添います。子どもの意志により、特定することができ関係機関と連携していきます。なにより子どもの最善の利益を保障します。2020年度は1,256件の電話を受けました。

主催：三重県

MIEちゃんに聞いてみよう

<http://www.childhelplineie.net/miechan/>
～返事がほしい～HP上で個人がわからないようにして返事(MIEちゃんの手紙を見る)をします。(一部)
2020年度は43件のメールを受信しました。

主催：認定NPO法人チャイルドヘルプライン MIE ネットワーク

子ども専用メール

<http://www.childhelplineie.net/soudan-mail/>
～返事はいらないけど誰かに気持ちを伝えたい～
2020年度は27件のメールを受信しました。

主催：認定NPO法人チャイルドヘルプライン MIE ネットワーク

「子どもの心を受け止めるネットワークみえ」は

チャイルドライン MIE をサポートします！！

三重県子ども・福祉部少子化対策課／三重県子ども・福祉部子育て支援課／三重県教育委員会事務局教育総務課／三重県環境生活部ダイバーシティ社会推進課NPO班／特定非営利活動法人三重ダルク／特定非営利活動法人三重いのちの電話協会／特定非営利活動法人フリースクール三重シュレ／CAPみえ／特定非営利活動法人三重県子どもNPOサポートセンター／NPO法人体験ひろば☆こどもスペース四日市／NPO法人四日市まんなかこどもステーション／子育て広場：ドロッピン／特定非営利活動法人こどもサポート鈴鹿／特定非営利活動法人津子どもNPOセンター／特定非営利活動法人松阪子どもNPOセンター／特定非営利活動法人三重みなみ子どもネットワーク／特定非営利活動法人子どもステーションくまの／NPO法人チャイルドヘルプライン MIE ネットワーク／特定非営利活動法人みえ親子・人間関係研究会